別記様式（第

自動車事故報告書の記載例

報告書は4部提出すること

報告書の提出時点の大臣名を記入する

国土交通大臣　□□　□□　宛て

☆マークは記入の要のない場合は斜線を引くこと
◆マークは、第2条11項、12項（車両故障等）の場合は、記入不要

○○運輸株式会社
自動車の使用者の氏名又は名称　代表取締役　○○　○○
住　　所　群馬県○○市○○１－２－３
電話番号　○○○－○○○－○○○

本社の住所、電話番号、代表者を記入する

24時間制で記入する

令和　○　年　○○　月　○○　日　提出

事故発生から30日以内に提出する

☆発生日時	令和　５年　１２月　１２日　２１時　３０分	☆路線名又は道路名	国道　４号線
天　　候	１晴れ　２曇　３雨　４雪　５霧　６その他		
☆発生場所	群馬　都道府県　○○　区市郡　○○　区町村　○○○○　○○　番地		
☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置		☆自動車登録番号又は車両番号	
○○運輸株式会社　○○営業所 群馬県○○市○○町○○番地		群馬１００あ○○○○ 前橋１００あ○○○○	

・道路名は国道、県道、市道等具体的に記入する
・高速道路等の場合はその名称も記入する
・高速道路の場合は「上り」「下り」の区分、○○kpを記入する

わかる範囲で詳細に記入する

・営業所名まで記入する
・営業所の住所を記入する

下段はトレーラのナンバーを記入する

☆当時の状況

当該営業所の運転者○○は、１２月１２日６時に出社し、日常点検を実施後、運行管理者（補助者）○○の乗務前点呼を６時３０分に受け、積み込み先の●●に向け７時に出庫した。８時に●●に到着し荷物を積み込み、９時に埼玉県○○市へ向け出発した。その後、上記場所付近の片側一車線の国道４号線を約７０キロで走行中、赤信号で停車していた乗用車３台の列に追突した。

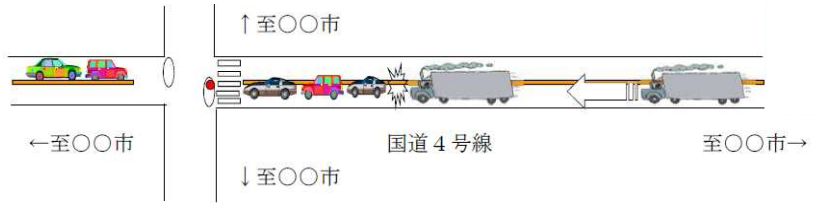
当該運転者にケガは無かったが、最初に追突した乗用車の運転者（男性６４歳）が右足大腿骨の骨折の重傷を負い、○○病院に搬送され、現在も入院中。さらに前の乗用車の運転者（女性３８歳）が首に軽傷を負った。

・事故当日の当該運転者に関する時間的な経過（出勤時間、点呼時間、出庫時間、目的地発着時間等）の詳細を記入する

・事故発生時の状況（時間、場所、速度、交差点の有無、信号の有無、車線、標識等）の詳細を記入する

・事故に関する車両、乗員の情報（乗車人数、ケガの程度、年齢、性別、治療に要する期間、入院先等）について可能な限り詳細に記入する

☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること



☆当時の処置	当該乗務員は被害者の様子を確認し、至急消防と警察に連絡した。 その後、被害者は病院に搬送された。当該運転者は警察の取り調べを受けるため、○○警察署に移動した。 積荷は代替車両に積み替え配送した。
☆事故の原因	左前方の中古車販売店の展示車両に気をとられ（脇見運転）、 前方停止車両の発見が遅れたこと及びスピード超過。
☆再発防止対　策	乗務員全員を集め、脇見運転防止及び速度遵守等について 改めて教育を行い、法令遵守の再徹底を行った。
※備　　考	

・警察、家族、会社等への連絡状況
・負傷者等にとった措置、病院への収容状況
・旅客、積荷等の措置等の内容を記入する

警察の調書、運転者や目撃者の証言等を参考に記入する

・事業者として講じた対策を具体的に記入する
・事故の原因に対応したものになっているか確認すること

規格Ａ列

停留所発車における車内事故の場合のみ以下の内容を記入し、それ以外は記入しない。
・負傷した乗客の着座の状況（着座前又は着座後の発車）
・負傷した乗客のつり革、手すりの使用等、体の保持状況

① 発生した事故の種類の区分番号を〇で囲む。
（2種類以上の事故が発生している場合は、最も大きな被害が発生した事故の種類を〇で囲むこと。）
※事故の区分について
「衝突」：自動車、原動機付自転車等又は家屋その他の物件等と衝突又は接触したとき
「死傷」：「衝突」又は「車内」以外により死傷者を生じたとき（自転車、歩行者を撥ねたとき等）

② 道路からの落差が0．5m以上の場合記入する。

③ ①で「衝突」を含む場合のみ記入する
正面衝突：相手方と対面して衝突した場合
側面衝突：相手方と対面又は同方向以外に進行して衝突した場合
追突：相手方と同方向に進行して衝突した場合（接触に該当する場合を除く）
接触：相手方と並進中又は追い抜き等の際に接触した場合
物件衝突：自動車等以外と衝突した場合

・当該自動車の大部分が位置していた場所
・重複する場合は該当の箇所

事故の種類

① 区分	1 転覆	2 転落	3 路外逸脱	4 火災	5 踏切	6 衝突	7 死傷	8 危険物等	9 車内	10 飲酒等	11 健康起因	12 救護違反	13 車両故障	14 交通障害	15 その他
☆発生の順						1									

☆転落の状態　落差　②　m　水深　m

衝突等の状態　1 正面衝突　2 側面衝突　3 追突　③　4 接触　5 物件衝突

当該自動車の概要

☆車名	☆型式	☆車体の形状	☆初度登録年又は初度検査年
○○	ADG－DC125		
○○	EF12345		

下段はトレーラを記入する

事業用　1 乗合旅客　2 貨物旅客　3 乗用旅客　4 特定旅客　5 一般貨物（イ特別積合せ貨物　ロその他）　6 特定貨物　7 特定第二種　8 貨物軽（四輪）　9 貨物軽（三輪以下）

選択する

自家用　1 有償貸渡し（レンタカー）　2 有償旅客運送　3 その他

種別　1 普通　2 小型　3 その他

☆乗車定員　2 人　☆当時の乗車人員　1 人

運転者、乗客、車掌等の合計を記入する

☆最大積載量　39，200（9，500）kg　☆当時の積載量　kg

29，000 kg　28，000 kg

下段はトレーラを記入する

安全運転支援装置		
衝突被害軽減ブレーキ	1 有	2 無
ドライバー異常時対応システム	1 有	2 無
側方衝突警報装置	1 有	2 無

許可等の必要性		
制限外許可	1 有	2 無
特殊車両通行許可	1 有	2 無
保安基準の緩和	1 有	2 無

許可等の取得状況		
制限外許可	1 有	2 無
特殊車両通行許可	1 有	2 無
保安基準の緩和	1 有	2 無

貨物の内容　1 土砂等　2 長大物品等　3 コンテナ　4 生コンクリート　5 危険物等　6 冷凍、冷蔵品　7 原木、製材　8 引越　9 その他

積載危険物等
運搬の有無　1 有　2 無
種類　1 危険物　2 火薬類　3 高圧ガス　4 核　5 RI　6 毒劇物　7 可燃物
☆品名及び積載量又は放射能の量　品名　（　）kg、l　（　）Bq
イエローカードの携行状況　1 有　2 無

道路等の状況

種類　1 道路（イ高速自動車国道　ロその他）　2 その他の場所

2は、構内、営業所内等、一般交通の用に供しない場所の場合

☆道路の幅員　④　7.0 m

こう配　1 平たん　2 上り　3 下り

道路の形態　1 直線　2 右曲り　3 左曲り　4 交差　5 つづら折り

路面の状態　1 乾　2 湿　3 積雪　4 氷結

警戒標識の設置　1 有　2 無　⑤　☆当該道路の制限速度　60 km/h

踏切の状態　1 遮断機付き　2 警報機付き　3 その他

◆営業所及び運行等の状況

☆当時の運行計画　（発地・経由地・着地）
○○営業所　発6:40　～　神奈川県○○市（○○建材）　着7:00　発9:00
埼玉県○○市（□□建設）　着12:00　発14:00　～

発地、（経由地）、着地及び予定時間を記入する

☆運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等（貸切旅客のみ）

貸切旅客の場合のみ記入

安全性優良事業所の認定（貨物のみ）　1 有　2 無

運送形態　1 下請運送　2 その他

☆荷送人の氏名又は名称及び住所　（株）○○建材　神奈川県○○市△△1－2－3

☆荷受人の氏名又は名称及び住所　□□建設（株）　埼玉県○○市○○4－5

当時の状況

☆危険認知時の速度　70 km/h

☆危険認知時の距離　20 m

☆スリップ距離　5 m

当該自動車の事故時の走行等の態様　1 直進（加速）　2 直進（減速）　3 直進（定速）　4 後退　5 追越　6 右折　7 左折　8 駐車　9 停車　10 転回　11 合流　12 その他

道路上での事故の場合には事故発生地点　1 車道　2 歩道　3 横断歩道　4 路側帯　5 路肩　6 交差点　7 バス停留所　8 トンネル　9 その他

死傷事故の場合には死傷者の状態　1 左側通行　2 右側通行　3 信号無視　4 車線逆行　5 歩道通行　6 横断禁止違反　7 車の直前横断　8 斜横断　9 飛び出し　10 酩酊　11 路上作業　12 路上遊戯　13 乗降中　14 安全地帯　15 自転車運転　16 その他

車両の故障に起因する場合には故障箇所　1 原動機（速度抑制装置を除く）　2 速度抑制装置　3 動力伝達装置　4 車輪（タイヤを除く）　5 タイヤ　6 車軸　7 操縦装置　8 制動装置　9 緩衝装置　10 燃料装置　11 電気装置　12 車枠及び車体　13 連結装置　14 乗車装置　15 物品積載装置　16 窓ガラス　17 騒音防止装置　18 ばい煙等の発散防止装置　19 灯火装置及び指示装置　20 反射器　21 警音器　22 視野を確保する装置（後写鏡、窓拭き器等）　23 計器（速度計、走行距離計等）　24 消火器　25 内圧容器及びその附属装置　26 自動運行装置　27 運行記録計　28 その他

◆運転者

☆氏名　〇〇　〇〇
☆年齢　64 才
☆経験年数　12 年　1 月

当該自動車を運転する事ができる資格を得たときからの運転経験

自動車の運転を職業とする者にあっては勤務状況
本務・臨時の別　1 本務　2 臨時
☆事故日以前1ヶ月間に出勤しなかった日数　5 日
☆乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離　08：30時間　550 km
☆最近出勤しなかった日から事故日までの勤務日数及び乗務距離の合計　勤務日数　4 日　乗務距離　2000 km

損害の程度　1 死亡　2 重傷　3 軽傷

当該自動車の運転者が負傷した場合記入する

シートベルトの着用状況　1 着用　2 非着用　3 非装備

☆交替運転者の配置　1 有　2 無（交替後の乗務時間及び乗務距離）　時間　km

☆アルコール依存症のスクリーニング検査の受診状況　1 有　2 無　（最近の受診年月日）　年　月　日

☆飲酒の時点及びその飲酒量　1 運行前　2 運行中　（飲酒量）

◆乗員

☆過去3年間の事故の状況　（過去3年間の事故件数）　1 件　（最近の事故年月日）　R4年1月3日

☆過去3年間の道路交通法の違反の状況　（過去3年間の違反件数）　2 件　（最近の違反年月日）　R3年8月2日

☆過去3年間の適性診断の受診状況　1 有　2 無　（最近の受診年月日）　R4年5月20日　（適性診断受診場所）　〇〇〇〇　〇〇支所

☆最近の健康診断の受診年月日　（最近の受診年月日）　R4年5月20日

④ 路肩を含む道路の総幅員（歩道は含まない）

⑤ 警戒標識が設置されている箇所において事故が発生した場合は「有」、設置が無ければ「無」を〇で囲む
例

特定自動運行保安員

☆氏名
☆年齢　才
☆経験年数　年　月
本務・臨時の別　1 本務　2 臨時
損害の程度　1 死亡　2 重傷　3 軽傷
業務場所の別　1 車両内　2 車両外
シートベルトの着用状況　1 着用　2 非着用　3 非装備
☆最近の健康診断の受診年月日　（最近の受診年月日）　年　月　日

車掌

本務・臨時の別　1 本務　2 臨時
損害の程度　1 死亡　2 重傷　3 軽傷
シートベルトの着用状況　1 着用　2 非着用　3 非装備

☆◆運行管理者等

	運行管理者 貨物軽自動車安全管理者	統括運行管理者
氏名	〇〇　〇〇	△△　△△
運行管理者資格者証番号 貨物軽自動車安全管理者講習修了番号	関群貨物第0000号	関群第000号

当該運行に係る点呼を実施した運行管理者（補助者の場合は統括管理者を記入）

☆損害の程度
◆死亡　0 人（うち乗客　人）
◆重傷　1 人（うち乗客　人）
軽傷　1 人（うち乗客　人）

原則、医師の診断結果に基づき判断すること

事故発生後24時間以内に死亡した場合は「死亡」、24時間を超えた場合は「重傷」とすること

※健康起因の事故の場合は、別表2の調査事項を調査し、提出すること。
※車両故障により運行を中止した場合は、別表3の調査事項を調査し、提出すること。
※脱輪事故の場合は、車輪脱落事故等調査票の事項を調査し、提出すること。
※コンテナ積載車両の横転事故の場合は、コンテナ調査票の事項を調査し、提出すること。